

市内中小企業の新たな発展モデルの構築を目指す交流会

おやこキャリアスクールの 今後の展開

令和元年10月10日（木）
幸栄公民館 講座室2号室

本日の議論を進めるにあたって

①本事業の理念や実施目的を再確認し、共通認識のもと次年度以降のプログラムを進めていく。また、継続的に本事業を実施していくために行政がどのように関わっていくか、産学官民（企業・学校・行政・市民）がどのように連携していくかを協議・検討する。

②2020年度プログラム（案）を精査し具体的な計画に落とし込む。

本日の論点

1 おやこキャリアスクールの理念・目的の再確認

理念: 子育てにしあわせな川口市のために企業として貢献する。

目的:

- ①産学官民(企業・学校・行政・市民)が連携し、親子と直接触れ合える環境を作り、体験を通して親子の成長の喜びを共に分かち合える仲間をつくる。
- ②体験を通して市内企業をより深く知ってもらい、企業の製品やサービスを利用することにより地域を活性化させる。
- ③子ども達の夢を広げ未来の雇用につなげる。

2 2020年度のプログラム(案)について(別紙参照)

(参考) 3月交流会ディスカッション結果

1 市内外の多くの方に子育てにやさしい街として認識されるためには

- ・ 情報発信の仕組み
- ・ 住みやすさと学びやすさ
- ・ 地域が愛情を注ぐ
- ・ 企業が子育てを見守る
- ・ 楽しいと思えることが大切

2 親子を対象とした事業を実施する企業、市のメリットについて

より多くの方に参加していただくことにより、市内企業を知っていただき、企業の製品やサービスを利用することにより地域が活性化する。

3 今後の展開について

より多くの方に参加いただけるように周知を工夫して、今後も継続していきたい。

(参考) 5月交流会ディスカッション結果

1 対象年齢について

この事業をまずは確立させることが大切と考えているため、現状のまま実施。

2 対象人数及び実施回数について

この事業の継続を第一に考えると、人数を拡大すると運営側の負担となる可能性があるため、現状のまま実施。

3 新企業メンバーの選出の有無について（メンバー構成）

おやこキャリアの理念に共感してくれる企業がいれば、参加して欲しい。ただ、拡大しすぎると理念から外れてしまうことがあるので、顔の見えるメンバーでまずは確立したい。

4 工程表の作成

次回の交流会で、議論予定

(参考) 7月交流会ディスカッション結果①

1 およこキャリアスクールの理念・目的の再確認

- ・ 企業利益よりも地域貢献的な要素が高い。
(懸念) 3年もすれば、うまく運営することにシフトしてしまう。
- ・ 持続可能な形にするために
市産品フェア参加を必須にするなど川口市独自のプログラムが必要。
- ・ 参加企業にとってメリットは何か。
①企業認知度の向上。企業を知るきっかけ。
②親や子の意見・考えが聞けるのため、長期的には、商品・サービスの開発当に役立つこともあるのではないか。
- ・ 事業の卒業生が、将来お手伝いに来るような循環を目指したい。
- ・ 官民学の連携を推進していく。

(参考) 7月交流会ディスカッション結果②

2 2020年度のプログラム、参加企業の家について

1 参加企業の構成

- ・今年度はマスコミ系が多い。来年はものづくり系を入れたらどうか。

2 参加企業数

- ・多人数は受入れは難しくても、少人数であれば可能な企業がある。
プログラム数を増加すれば子供たちも選択肢が広がる。
（＋）参加企業数増加は、翌年に参加企業数の増減があった際、プログラム構成に対応がしやすいという運営上のメリット。
（－）選択性の場合、参加者の希望にバラツキがでる可能性。

3 参加者のターゲット

- ・対象年次（低学年向け・高学年向け等）を決めたほうが事業を進めやすいこともある。

4 その他

- ・参加企業同士のコラボプログラムがあってもいいかも。
- ・官民学の連携が重要で、企業だけでなく、市とのプログラムも取り込みたい。